

今号の作業

シリンダーヘッドを組み立てる②



今号では「シリンダーヘッドB」を提供する。このパーツは、先号で仮組みしたシリンダーヘッドCの下に取り付ける放熱フィンで、エキゾーストパイプとエアクリーナーを取り付けるためのブロックでもある。先号で提供したシリンダーヘッドCと同様、向きに注意して仮組みを行おう。

今号のパーツ

①シリンダーヘッドB×1



※モデルの設計上、パーツの形状が実車とは異なる場合があります。
※「組み立てガイド」で紹介しているパーツは実際に付属するパーツと一部仕様異なる場合があります。

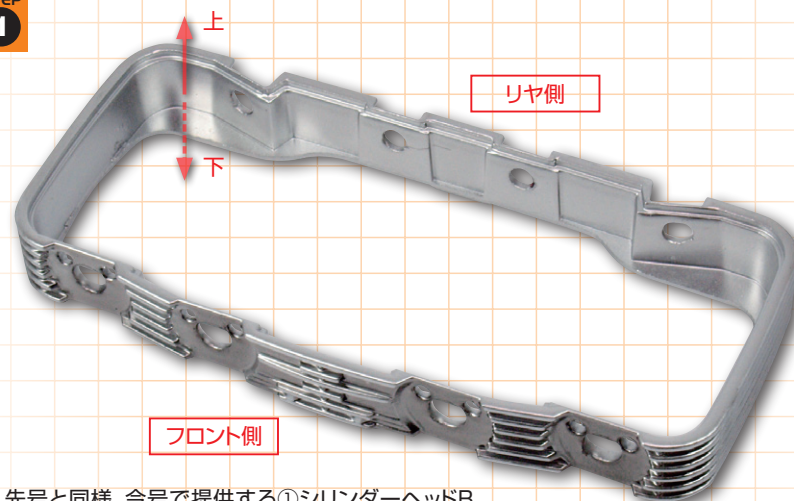
使用する道具

・特になし

用意するもの

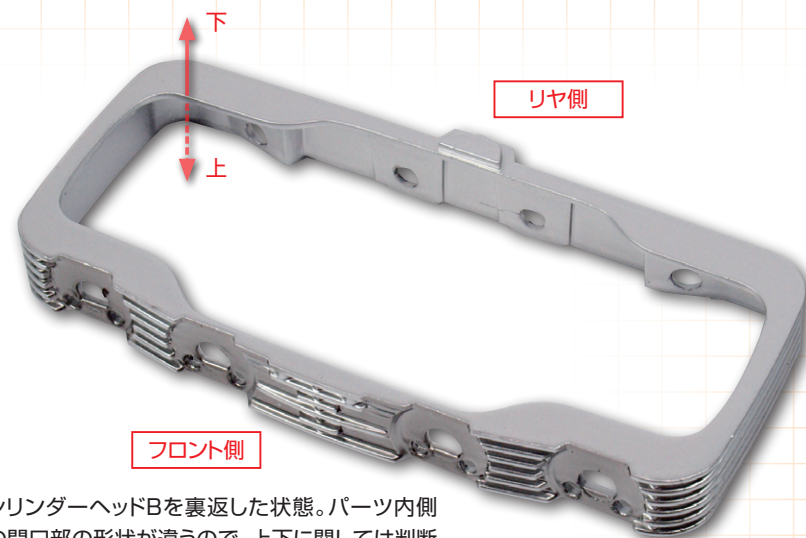
・シリンダーヘッドC(41号で仮組みしたもの)
・マスキングテープ

STEP
1



先号と同様、今号で提供する①シリンダーヘッドBも、取り付ける向きが決まられているので、しっかりと形状を確認しておく。写真手前がフロント側で、この上にシリンダーヘッドCが重なる。

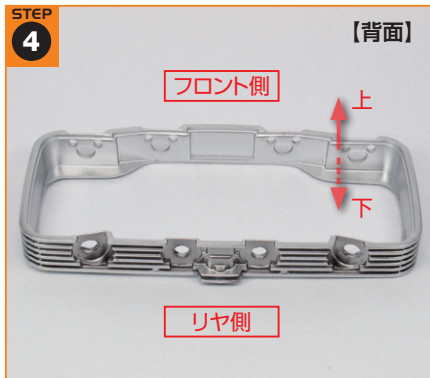
STEP
2



シリンダーヘッドBを裏返した状態。パーツ内側の開口部の形状が違うので、上下に関しては判断しやすいはずだ。



シリンダーヘッドBを正面・斜め上から見た状態。4つ並んだ穴は、エキゾーストパイプを取り付けるためのものだ。



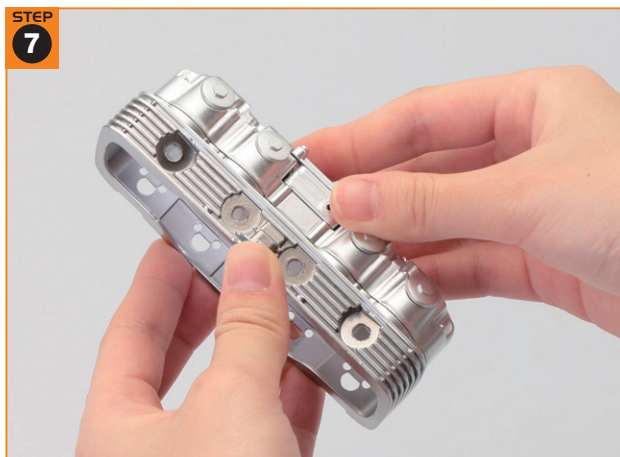
こちらはパーツの背面となる。前面と同じく穴が4つ設けられているが、両サイドの穴は内側に向けられている。また、中央部に出っ張った部分があるので、判別時の目印にしよう。



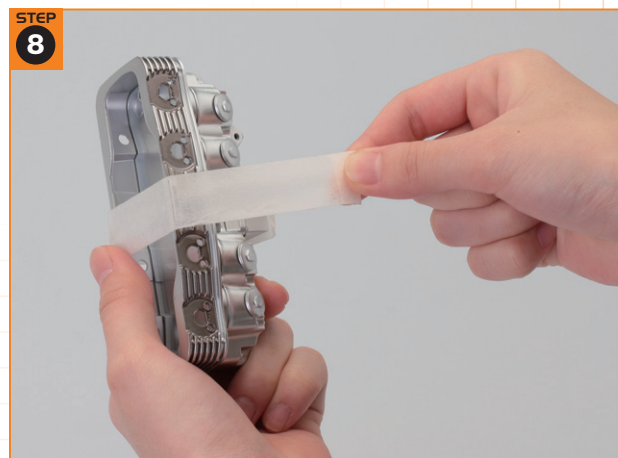
先号で仮組みしたシリンダーヘッドCを用意し、巻き付けたマスキングテープをはがす。



シリンダーヘッドCとシリンダーヘッドカバーが外れないよう保持したまま、シリンダーヘッドCの裏面にシリンダーヘッドBの上面を重ね合わせる。この時、接合部に角がある“リア側”を先に合わせると作業しやすい。

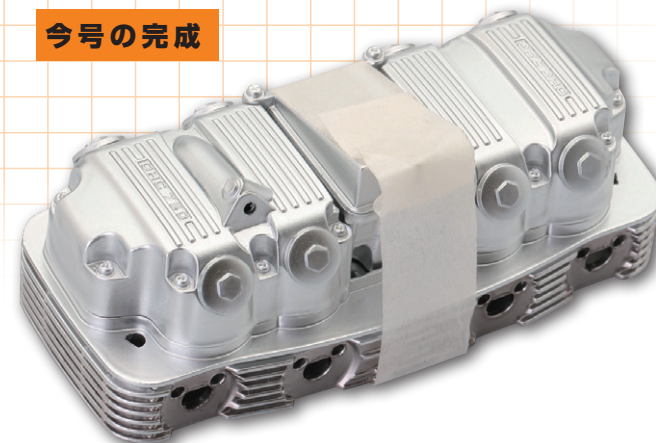


パーツを両側からしっかりと押さえ込む。パーツがぴったりとはまらず、ガタガタしてしまう時は、シリンダーヘッドBを“内側からフロント側とリア側へ広げるように力を加える”といい。



少し長め(20cm程度)に切ったマスキングテープを用意し、パーツがはずれないよう巻き付けて仮止める。

今号の完成



これで今回の作業は完了だ。シリンダーヘッドBが追加されたことで、エンジンらしさが一層高まった。また、シリンダーヘッドカバーと放熱フィン部分の“色味の違い”もリアリティを醸し出すことに貢献している。組み立てたパーツは次回の作業に備え、大切に保管しておこう。